

芦屋市財産区運営委員長 殿

H21-6-5

芦屋森の会2001

☎ & FAX 市内

標識取付け届

2001年芦屋国際住宅建設50周年記念植樹祭以来、当会の森林保全活動に付き格別のご配慮を頂き有り難うございます。

青少年野外活動センター工事が完了し軌道が撤去されましたので、活動地内の作業道整備（標識、路肩、木段、土留）を予定しており、先ず、標識の設置をします。

来る6/15から石仏谷活動地で「中学生トライやる」受入をします。

ここで里山保全の体験学習を5日間行います。標識はこれに間に合わせるためです。

なおこの標識は、「トライやる」を始めに今後予定する市民招待、子供ECOクラブ、ボーイスカウトなどを対象にした自然体験学習、自然観察会、森林保全活動体験で来場した人々に対し、誘導と位置を明示する必要があると考えたからです。

トライやるまでには以下の標識を予定しております。

（標識概要）

- a 形式：木柱（0.1m角、1.2m高さ）
- b 標識文字：芦屋森の会2001保全活動地入口
- c 色：ダーク・ブラウン（地）、白文字
- d 設置場所：芦有道路上り車線から山側に2mほど入った場所。

今後、順次、場所名、誘導標識を活動地の要所に設置する予定です。

以上宜しくお願い申し上げます。

以上

里山学習体験の森

事業計画書

ライオンズクラブ国際協会
335-A地区4R-1Z
芦屋クオリティライオンズクラブ

事業計画名/「里山学習体験の森」推進事業

事業計画者/ライオンズクラブ国際協会 335-A地区4R-1Z

芦屋クオリティライオンズクラブ

芦屋市精道町3-16 THL0797-35-7230 E-mail:ashiyaquality-lc@iris.ocn.ne.jp

事業目的/ 次代を担う子供たちが、森の大切さについて考え、森との関わりを深めるために、森林体験や環境学習を行なう場をつくる。

事業計画趣旨

私たちはいま、地球温暖化や環境破壊という大きな問題に直面しています。

地球は普通、平均して15℃くらいの暖かさに保たれています。それは、地球のまわりに薄い透明の膜があって、ちょうど私たちが着る衣服のように、地球を包んでくれているからです。これを温室効果と呼んでいます。それがいま、人間の活動によって二酸化炭素やフロンガスが急激に増え、温室効果の微妙なバランスが崩れはじめています。夏の暑い日に重ね着をするようなものです。地球の温度が20℃になると異常気象が発生し、生態系が崩れてきます。すでに北極圏では氷が減少し、白くま等は北への移動をよぎなくされています。私たちは大急ぎで地球を冷さなければなりません。私たちに何ができるかを考えながら、とりあえず、今すぐできることから始めてまいります。

兵庫県の約67%が森林に覆われています。その比率は明治以降ほとんど変わっていませんが、80年代以降は急速に伐採量が減り、そのために質的な劣化が進んでいます。それは、芦屋においても言えることです。これまで私たちは、過去9年間に亘り、森づくり事業の一環として「どんぐり拾い」を開催してきました。子供たちは、どんぐりを拾い、苗を育て、植樹をする過程で1本の木の大切さや自然の仕組み等を学習します。こうすることが、芦屋の自然を豊かにし、これからの芦屋の環境保全に繋がっていくものと思っています。

地域の環境を守り、さらに豊かな自然を創ることは地域における私たちの切実な想いでもあります。このような想いを、次世代、次々世代へと引き継いでいくのも私たちの努めだと考えています。

事業計画具体案

名称／	里山学習体験の森
場所／	ゴロゴロ岳ハイキング道、柿谷周辺
対象／	芦屋市内8小学校高学年
内容／	里山づくり

■体験

1. 間伐、伐採

あらかじめ、木や場所を設定しておいて、実際に子供たちに、鋸、ナタなどを使って体験してもらう。

2. 整地、植樹

間伐後、各小学校ごとに場所を決めて整地をし、8本の木を記念植樹をする。植樹は常緑広葉樹を中心に検討する。これまで育てた、どんぐりも移植する。

3. 廃材活用

間伐、伐採後の廃材を活用した物づくりを子供たちと一緒に考える。

■林間学校の開講

テーマを選び、専門の先生を呼んで、自然の中で楽しみながら学習をし、自然の大切さ、素晴らしさを感じてもらう。

■学習

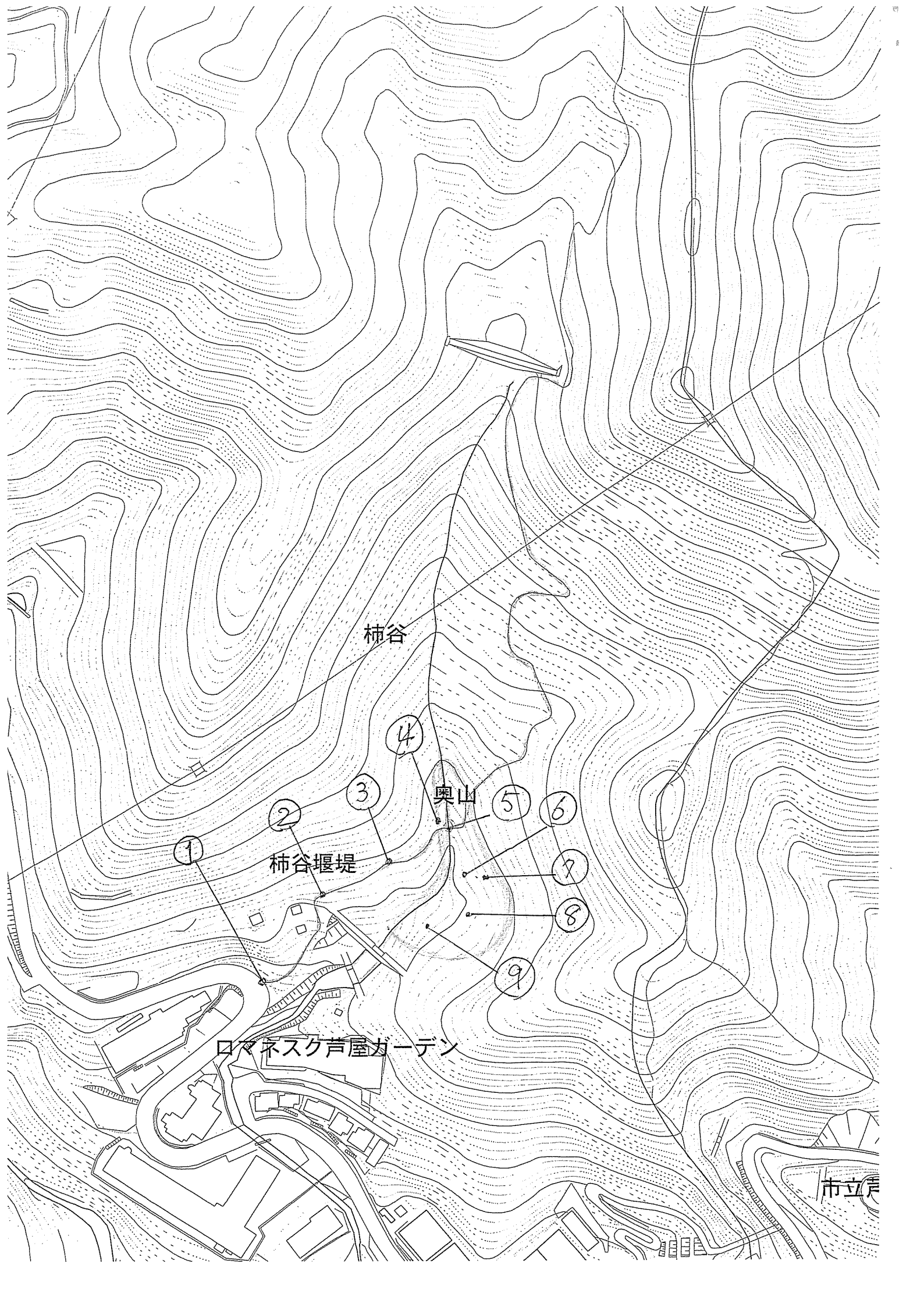
1. 植樹した苗木の成長記録や、四季折々の植物の変化などの観察記録をつける。

2. 野鳥や生物の動向を調べる。

3. キノコを調べる。また、シイタケの栽培を試みる。

■香りのエリアをつくる

桧、月桂樹などのアロマ系やハーブなどで、目の不自由な方や障害者の方たちにやさしいエリアをつくる。



柿谷

奥山

柿谷堰堤

ロマネスク芦屋ガーデン

市立

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨

平成20年度 事務報告書

芦屋市打出財産区共有財産管理委員会開催状況

会議名	議題	開催年月日
第1回委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎建設事業銘板について ・まつたけ山再生事業について ・平成19年度財産区会計決算見込みについて ・平成20年度山車維持管理費助成金交付申請の状況について 	H20. 7.19
第2回委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎建設事業銘板について ・青少年野外活動センター跡地撤去について ・まつたけ山再生事業について ・行政視察について 	H20. 9.30
共有地調査	まつたけ山再生事業候補地調査	H20.10.20
行政視察	行政視察（京都府亀岡市，三田市）	H20.11.27 H20.11.28
第3回委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度予算（案）について ・消防庁舎建設事業銘板について ・奥山1番1620の一部貸付について ・青少年野外活動センター跡地撤去について ・共有地調査の結果について ・行政視察の結果について 	H21. 1.22
共有地調査	青少年野外活動センター施設撤去状況調査	H21. 3. 3

平成19年度 事務報告書

芦屋市^{打出}芦屋財産区共有財産管理委員会開催状況

会議名	議題	開催年月日
第1回委員会	・芦屋市消防庁舎建設実施設計について	H19. 6. 19
第2回委員会	・砂防施設用地の譲渡について ・マツタケ山の再生について ・芦屋市青少年野外活動センターの廃止について ・平成18年度財産区会計決算見込みについて ・平成19年度山車維持管理費助成金交付申請の状況について	H19. 8. 1
第3回委員会	・芦屋市青少年野外活動センターに関するNPO法人からの要請について ・マツタケ山の再生事業の取り組みについて	H19. 11. 20
第4回委員会	・共有財産管理委員会委員長及び副委員長の選任について ・平成20年度予算(案)について	H19. 12. 25